

## 143 東京都江戸東京博物館

東京都 建築設計——菊竹清訓建築設計事務所

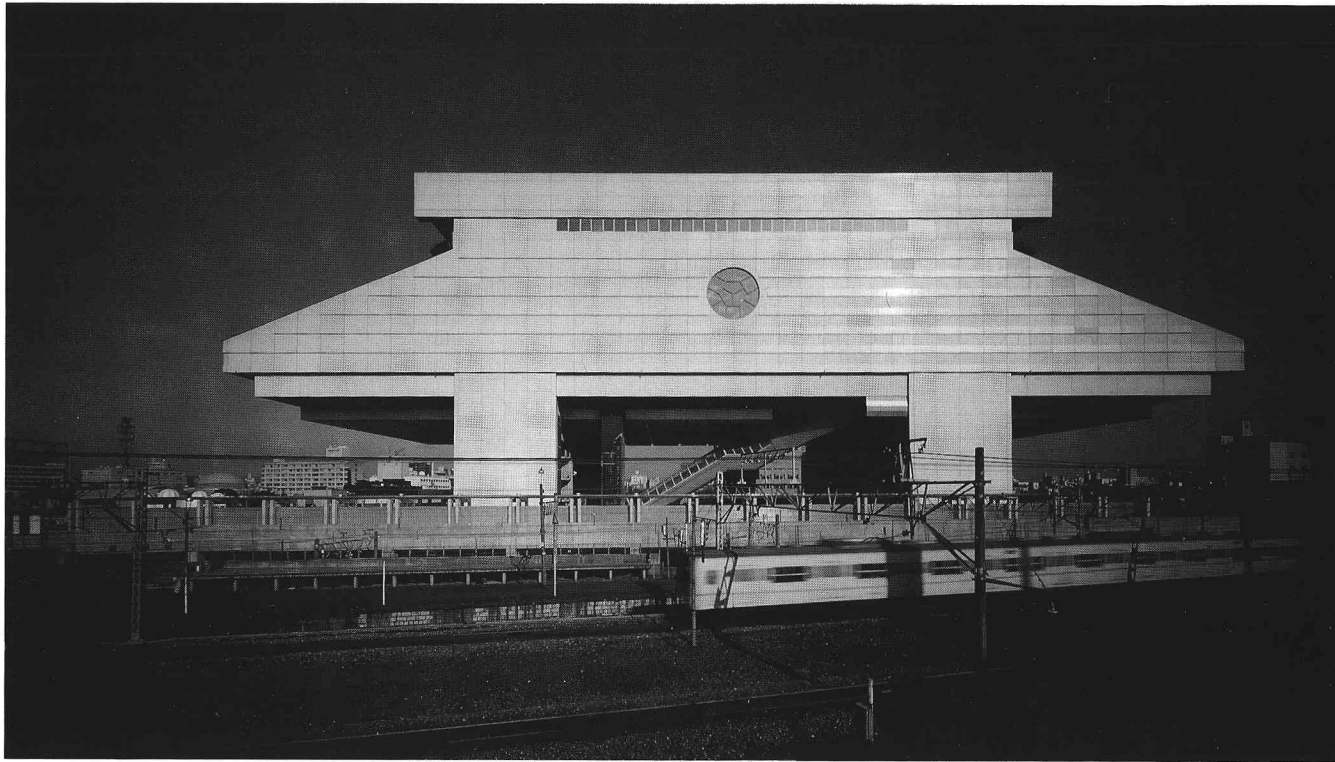
鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄骨造，地上7階・地下1階建，1992年

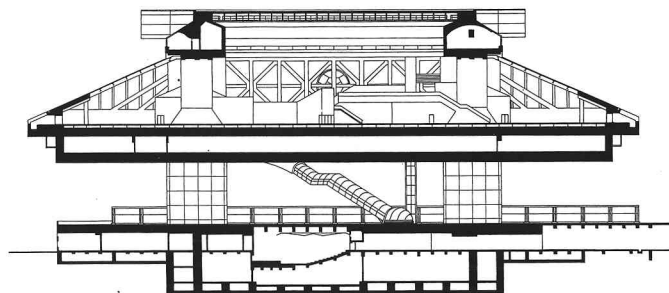
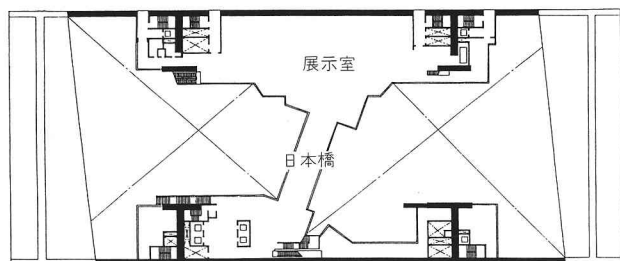
H形をした4本の大柱が，両側に36m跳ね出しのある64.8m×158.4mの4階床より上部を支えている。長辺方向は4列の大架構が主体で，大柱のフランジ部分と地中梁を含む壁梁と，中間階・最上層2段の大トラス梁により大架構を形成し，大トラス梁の間にはブレースを設けている。短辺方向は2列の大架構が主体で，大柱のウェブ部分と地中梁を含む壁梁と，中間

階・最上階の大トラス梁により日の字形の大架構を形成している。長辺方向の36mの跳ね出し部分は，大柱の柱頭から，斜め材により支持されている。この跳ね出しの先端部分には，地震時に上下方向の大きな加速度が生じるため，5階床下に制震装置を設け，加速度の低減を図っている。

南側外観

撮影：新建築社写真部



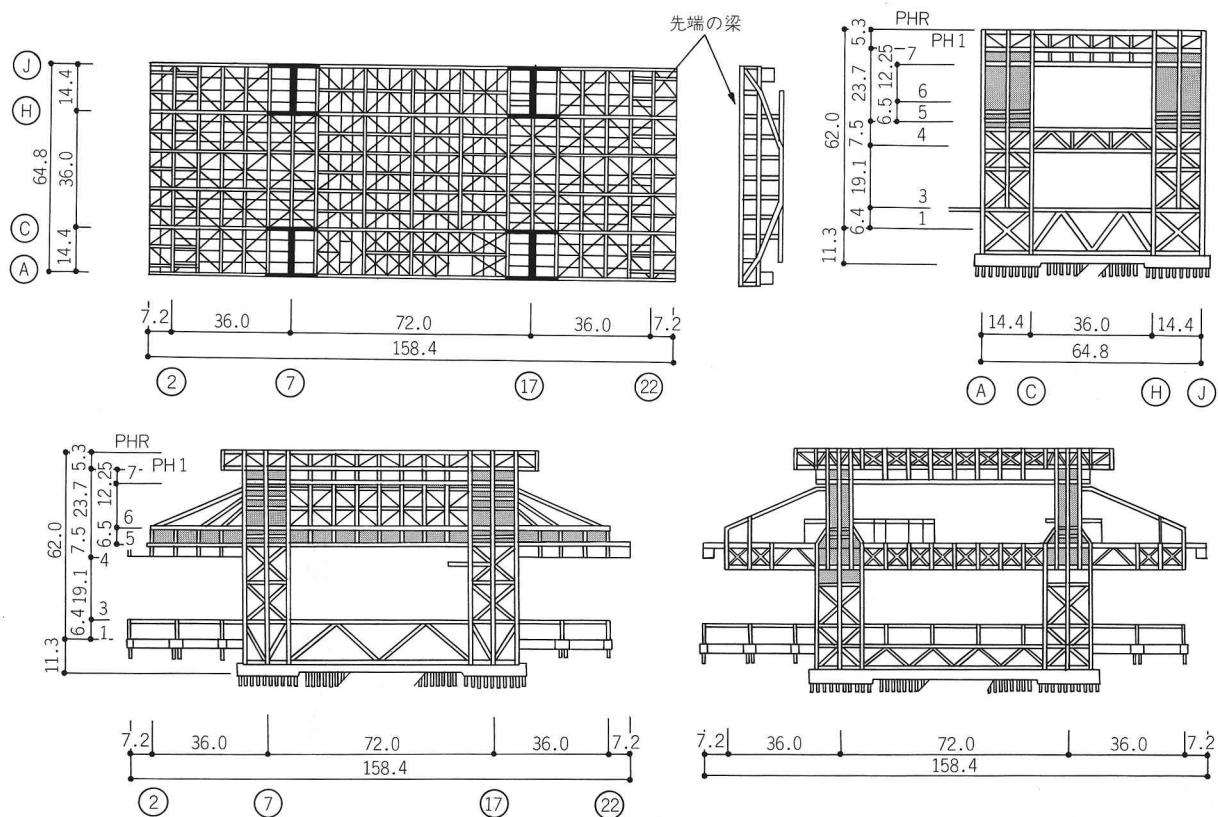


左上：6 階平面 (S=1/1000)

右上：断面 (S=1/1000)

下：俯瞰

撮影：三島徹 (日経BP社)



左上：5階梁伏  
 右上：7通り軸組  
 左中：A通り軸組  
 右中：C通り軸組  
 下：制震装置

